

第2回 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会会議録	
開催日時	令和8年8月5日（水） 14時00分～15時30分
開催場所	栄区役所本館4階 2号会議室
出席者	佐藤亨委員長、海野由喜代委員、中野恵子委員、箕口一美委員、柳田満委員（計5名）
欠席者	なし
開催形態	一部非公開（応募資格等の確認、面接審査及び採点における委員による採点及び意見交換、指定候補者の選定について非公開）（傍聴者2名）
議題	1 事前確認事項 2 応募資格等の確認 3 面接審査及び採点 4 指定候補者の選定
決定事項	横浜市栄区民文化センターの指定候補者を神奈川共立・JSS 共同事業体とする。
議 事	1 事前確認事項 （1）会議の公開・非公開 第1回選定委員会において決定したとおり、適正な審査が阻害される恐れがあるため、また、公開することで審査の公正性が損なわれる恐れがあるため、応募資格等の確認、面接審査及び採点における委員による採点及び意見交換、指定候補者の選定について、非公開とすることについて確認した。 （2）選定方法の確認 選定方法について、選定の流れと評価基準・採点方法に関して事務局から説明を受け、確認した。 （3）応募団体との利害関係 委員と応募団体との間に利害関係が無いことを確認した。 2 応募資格等の確認 応募団体は、応募者資格を満たしていること、また、市税の滞納や暴力団などの統制下でない等、欠格事項への該当がないことを確認した。 3 面接審査及び採点 （1）プレゼンテーション 応募団体より、団体の概要、事業計画等について説明 （2）質疑応答 （委 員）新しく購入したピアノの保守・調律はどうなっているのか。ピアノを選定した人と調律を担当する人は同じか。 （団 体）ピアノは栄区が購入したピアノで、複数台の候補から試弾を行ったうえで、つながりがあるピアニストが選定した。 保守・調律は、トレボ社へ委託している。 （委 員）ホールの利用率はよいが、ギャラリーや会議室は約80％程度にとどまっている。目標値が83％というのは小幅な上昇に見える。20年間指定管理を担ってきた中で、思い切った改善策が必要ではないか。自主事業を活用して利用促進を図るべき。 （団 体）課題として認識している。展覧会や美術系の事業など、音楽以外の分野にも取り組んでいる。今後も利用促進を強化したい。 （委 員）申請書類がPDF形式なので編集できない。WordやExcel形式による書類を導入できないか。利用者と施設側の双方の事務効率化につながる。

	(団 体) 改善する。 (委 員) 提案書には、次世代育成の記載が多いが、具体的な成果が見えにくい。文化団体は高齢化と会員減少が進んでいる。若い世代の参加や人材育成をどのように進めるのか。 (団 体) 公演やワークショップだけでは十分ではなく、気軽に施設へ来館してもらう機会を増やすことが重要だと考える。他の施設や地域団体ともこれまで以上に連携を図りながら、親子世代等の利用の拡大を図りたい。 (委 員) 公演数増加やアウトリーチ拡充など、事業内容が非常に意欲的であるが、提案書の人員体制で本当に実施可能なのか。 (団 体) 提案事業は既存事業の拡充が中心であり、外部の協力を活用することで実施可能と考えている。また、目標は段階的に進めるもので、無理のない範囲で取り組んでいく計画である。 (委 員) 組織図を見ると、現場で経理や予算管理を担当する人員の配置を確認できない。事業に関わる細かな経理や会計業務は誰が担当するのか。 (団 体) 現場は事業運営を担当し、人事・総務・経理などのバックオフィス業務は法人本部が一括して行うことを想定している。職員の力を文化事業の企画運営や利用率向上の取組に集中させたいと考えている。 (委 員) 第三者評価での指摘が反映された提案になっている。ギャラリーの利用率向上に対して「新規利用者の開拓」とあるが、具体的にどのような方法で取り組むのか。 (団 体) コロナ以降、ギャラリーの利用者が減少し、高齢化による活動縮小も課題となっている。そのため、既存利用者のリピート利用促進と、利用事例や活用方法を紹介して新たな利用者を増やすことの両面から利用率向上を図りたい。そのための事例やノウハウの蓄積を進めている。 (委 員) 施設の老朽化が進んでいるため、市と連携して必要な修繕や設備更新を検討し、利用者が安心して利用できる環境を維持してほしい。 (3) 各委員による審査・採点 応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価点を集計した結果、次の通りとなった。 <table><tr><th>施設名</th><th>団体名</th><th>評点／満点</th></tr><tr><td>横浜市栄区民文化センター</td><td>神奈川共立・JSS 共同事業体</td><td>988 点／1200 点</td></tr></table> 4 指定候補者の選定 採点の結果、上記合計点とともに、最低制限基準を満たしていることを確認した。これを踏まえ、神奈川共立・JSS 共同事業体を第5期横浜市栄区民文化センターの指定候補者とすることを決定し、選定結果を栄区長に報告することとした。	施設名	団体名	評点／満点	横浜市栄区民文化センター	神奈川共立・JSS 共同事業体	988 点／1200 点
施設名	団体名	評点／満点					
横浜市栄区民文化センター	神奈川共立・JSS 共同事業体	988 点／1200 点					
資 料	資料1 選定の流れ 資料2 評価・採点方法について						
特記事項	特になし						